

家事消費・事業消費の計算表（記入例）

氏名・農園名：_____ 年分：_____ 作成日：_____

月日（年末一括なら「一括」）	農産物	用途（家事消費／贈答／事業消費）	数量	単位	単価（円）	金額（円）	単価の決め方・同時に書く経費
一括	米（コシヒカリ玄米）	家事消費（家族の食用）	240	kg	280	67,200	単価の計算シートの①（出荷した米の手取り単価）
一括	米（コシヒカリ玄米）	贈答（親せき・知人へ）	60	kg	280	16,800	同上
一括	米（コシヒカリ玄米）	事業消費（手伝いの人のまかない）	30	kg	280	8,400	同上。雇人費（現物）にも同額を書く
一括	米（種もみ用に残した分）	事業消費（翌年の種もみ）	90	kg	280	25,200	同上。種苗費（自給分）にも同額を書く
一括	トマト	家事消費（家族の食用）	40	kg	350	14,000	単価の計算シートの②（市場の平均単価を参考）
一括	なす・きゅうりなど野菜	家事消費（家族の食用）	1	式	12,000	12,000	生鮮な野菜は合計金額だけでよい
		合計（収支内訳書・決算書の「家事消費・事業消費」へ）				143,600	

- 農産物を家で食べた・人に贈った・事業に使った（まかない、翌年の種もみ、家畜の餌など）ときは、収入金額に入れます。金額は原則その時の価額ですが、その年の収穫時の価額の平均や、出荷価額の平均で計算しても差し支えありません。
- その都度帳簿に書くのが原則ですが、年末に種類ごとの合計数量・合計金額を見積もって一括で書くこともできます。野菜・ぶどう・桃・梨などの生鮮な農産物は合計金額だけでも構いません。
- 事業消費した分は、同じ額を経費（種もみ→種苗費、餌→飼料費、まかない→雇人費の現物）にも入れるので、所得は増えません。
- 記入例の数量・単価は架空のものです。個別の判断は税務署や税理士に確かめてください。